

# インフォメーション・コーナー

## 会 告

平成 20 年度会員名簿の掲載事項について .....	72
平成 21 年度農業農村工学会賞候補の推薦について(再) .....	73
平成 20 年度「戦略的研究申請支援」の助成希望者募集について(再) .....	73
学会誌掲載報文等による通信教育の参加者募集!! .....	73
農業農村工学会災害対応調査団専門別調査団員登録について .....	74
「農業農村工学会学術基金」の募金について .....	74
国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のご希望と国際ジャーナル 「Paddy and Water Environment」について .....	75
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のご希望と 編集事務局(投稿先)のお知らせ .....	75
「水土の知(農業農村工学会誌)」への投稿お待ちしております!! .....	76
身近にある水利遺構で表紙を飾ろう!! 「水土の知(農業農村工学会誌)」平成 21 年夏期の表紙写真の募集 .....	77
第 11 回(2009 年)「日本水大賞」募集要項について .....	77
支部講演会の投稿票について .....	78
第 57 回北海道支部研究発表会の開催について(第 1 報) ㊦ .....	78
第 42 回東北支部研修会・第 32 回地方講習会の開催について ㊦ .....	79
第 59 回関東支部大会講演会の開催について(第 2 報) ㊦ .....	79
第 37 回中国四国支部研修会・第 32 回地方講習会の開催について(第 2 報) ㊦ .....	80
九州支部第 89 回講演会・ポスターセッション第 31 回講習会・シンポジウム・ 現地見学会の開催について(第 2 報) ㊦ .....	81
農地保全研究会第 29 回研究集会の開催について(第 2 報) ㊦ .....	84
農業農村工学会論文集第 256 号内容紹介 .....	85
<b>学会記事</b> .....	87

### 第 76 巻第 9 号予定

**展望:** 農業農村工学における電磁波計測の未来: 松岡俊文

**小特集:** 農業農村工学分野における電磁波計測技術の利活用

電磁波計測技術の農業農村工学分野への応用: 佐藤源之

核磁気共鳴表面スキャナーの農業土木への応用にむけて: 中島善人他

低周波電磁波を用いたワイヤレス計測システム: 林田洋一他

TDR 法を用いた茶園土壌中の養水分動態のモニタリング: 廣野祐平他

農業用水路トンネルの機能診断への電磁波レーダ法の適用: 森 充広他

### 技術リポート

北海道支部: 双葉ダムのアスファルト遮水工改修の施工管理: 瀬口克二他

東北支部: 請戸川地区における漏水要因の指標化の検討について: 梶原義範他

関東支部: 水理模型実験による分水工の分水量の検証: 村上満広

京都支部: ゼロエミッション構想への取組み: 長谷暢也

中国四国支部: 水路設計支援システムの応用: 姜 華英

九州支部: 軟弱地盤における大口徑パイプラインの基礎について: 今村太輔他

**小講座:** 合成開口レーダ: 米澤千夏

**私のビジョン:** 土壌物理探査統計学?: 斎藤広隆

## 農業農村工学会行事の計画

農業農村工学会行事について、下表のように計画しています。奮って参加下さるよう、お待ちしております。

⊗のマークは、技術者継続教育認定プログラムとして認定されたもの、および認定申請中のものを表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号	
平成20年8月 26~28日	大会運営委員会	平成20年度農業農村工学会大会講演会	⊗	秋田市	75巻12号 76巻1,3,6号	
平成20年10月 21,22日	関東支部	第59回講演会	⊗	長野市	76巻6,8号	
平成20年10月 21,22日	中国四国支部	第63回講演会	⊗	広島市	76巻5,7号	
平成20年10月 22日	北海道支部	第57回研究発表会	⊗	札幌市	76巻8号	
平成20年10月 23,24日	農地保全研究部会	第29回研究集会	⊗	中山間地における農地保全・地域資源の活用	松阪市	76巻6,8号
平成20年10月 30,31日	九州支部	第89回講演会・シンポジウム 第31回講習会・現地見学会	⊗		那覇市	76巻5,8号
平成20年11月 6,7日	京都支部	第65回研究発表会	⊗		福井市	76巻5,6号
平成20年11月 6,7日	農村計画研究部会	第30回現地研修集会	⊗	都市・農村交流をめざした山、里、海づくり	横浜市	76巻7号
平成20年11月 6,7日	農村道路研究部会	平成20年度研究集会・現地研修会	⊗		中国四国農政局管内	76巻7号
平成20年11月 13,14日	中国四国支部	第37回研修会・第32回地方講習会	⊗		岡山市	76巻6,8号
平成20年11月 19日	北海道支部	第35回研修会・第31回シンポジウム	⊗		札幌市	
平成20年11月 27日	東北支部	第42回研修会・第32回地方講習会	⊗		秋田市	76巻8号
*平成20年12月 11日~13日のうち一日	資源循環研究部会	平成20年度研究発表会	⊗	農村における水やバイオマス等資源の利活用および循環に係る調査・研究の最新成果	東京都	76巻3号
平成21年2月 3日	北海道支部	地方講習会	⊗		札幌市	

\*開催日が9月から12月に変更になりました。

## 平成20年度会員名簿の掲載事項について

平成20年度版の当学会会員名簿の発行に係る掲載事項については、個人情報の保護に関する法律の規定に基づき、従来どおり当学会の「会員名簿の発行に伴う個人情報の扱い」により対処しますので、掲載事項としている下記の事項について、掲載に同意されないものがある場合は、会員番号と氏名を明記のうえ、郵便、E-mail またはFAXで、10月3日(金)までにご連絡下さい。(非掲載項目につきましては、前年度までにご連絡を頂いていて、変更のない場合は再度ご連絡を頂かなくても結構です)

なお、ご連絡がない場合は、掲載に同意されない事項がないものとします。

## 記

## 会員名簿掲載事項

【氏名】 【会員番号】 【出身校】 【卒年】  
【資格】 【勤務先及び役職】 【自宅住所】  
【自宅電話番号】

## 連絡先

郵便の場合：〒105 0004 東京都港区新橋5 34 4

## 農業農村工学会 花塚宛

E-mailの場合：hanatsuka@jsidre.or.jp

ファックスの場合：03 3435 8494

(参考)

## 会員名簿発行に伴う個人情報の扱い

以下の項目を遵守することによって、個人情報取扱義務を全うする。

1. 利用目的の特定、利用目的による制限  
農業農村工学会会員名簿の作成業務及び会員管理にのみ利用し、この範囲を超えて利用しない。
2. データ内容の正確性の確保  
個人情報の正確性、最新性を確保する
3. 安全管理措置、従業者、委託先の監督  
安全管理のために、学会職員、印刷業者等に対して必要かつ適正な監督を行う。
4. 第三者提供の制限  
名簿は、(社)農業農村工学会定款第6条に定める会員及び同会員が所属する機関に限り原価にて頒布する。

**平成 21 年度農業農村工学会賞候補の推薦について（再）**

平成 21 年度の農業農村工学会賞（上野賞，沢田賞を除く）を，第 76 巻 6 号 p.70 の募集要項<sup>※</sup>に則って，推薦書によりご推薦下さい。

締切りは，平成 20 年 10 月末日となっております。推薦書様式は学会 HP をご参照下さい。

注）第 76 巻 6 号 p.70 掲載の募集要項に誤りがありました。

平成 21 年度の優秀技術リポート賞の対象範囲および期間は，農業農村工学会誌 75 巻 1 月号～76 巻 9 月号ではなく，73 巻 4 月号～76 巻 9 月号です。お詫びして訂正いたします。

**平成 20 年度「戦略的研究申請支援」の助成希望者募集について（再）**

**研究委員会戦略的研究推進小委員会**

農業農村工学分野における戦略的研究の推進を目的とし，下記取扱い内規によって，競争的研究資金獲得をめざす研究申請書作成グループに助成を行います。助成総額は 60 万円程度（平成 20 年度，原則 1 件 20 万円以内）です。

本年度の申請締切りは平成 20 年 9 月 19 日（金）です。助成金を希望される方は期限までに，必要事項を記入した申請様式（末尾参照）で研究委員会戦略的研究推進小委員会委員長宛にお申し込み下さい。

試験研究機関，行政，大学，民間等からの応募を歓迎いたします。

**「戦略的研究申請支援」の助成金取扱い内規**

1. 申請：学会員は所定の申請用紙に必要事項を記入の上，「研究申請支援」の助成金の申請ができる。なお，申請者の資格は，後述の「4 助成対象」に示すとおりとする。
2. 認定：研究委員会戦略的研究推進小委員会は，「研究申請書作成グループ」の申請内容（申請の意義，準備の状況，将来の展望など）を検討して，助成金の配布グループと金額を決定します。なお，この決定内容は学会長に報告します。
3. 配布：研究委員会戦略的研究推進小委員会は認定した「研究申請書作成グループ」に対し，「研究連絡費」として助成金を配布する。ただし，その配布は原則として 1 年とする。可否の認定に当たっては，科学研究費補助金以外の競争的資金に応募を予定しているグ

ループを優先します。

4. 助成対象：申請できる条件（助成対象）は次のとおりとする。

（イ）具体的な研究テーマをもち，それを研究することが戦略的な意味で農業農村工学の意義と役割を対外的に示すことに貢献しうること。

（ロ）「研究申請書作成グループ」には代表者（本学会員）をおき，構成員（本学会員以外も可）は原則として 3 名以上，それらの所属する機関が二つ以上あること。

5. 活動報告：助成金を配布された「研究申請書作成グループ」は，助成金受領後 1 年以内に活動報告として，作成した申請書とその提出および審査の経過を，戦略的研究推進小委員会に提出すること。提出された活動報告は戦略的研究推進小委員会のデータベースに登録され，必要に応じて学会の研究申請支援活動に役立てられる。

**「戦略的研究申請支援」の助成金申請様式**

締切り：平成 20 年 9 月 19 日

申込先：戦略的研究推進小委員会委員長宛

E-mail：tkiku@jsidre.or.jp

**必要記載事項：**

- （1）WG 名（または部会名）
- （2）代表者名・所属
- （3）参画者名・所属
- （4）研究テーマ名（仮）
- （5）研究の目的と内容（500 字程度）
- （6）研究資金申請応募先（予定）

**学会誌掲載報文等による通信教育の参加者募集!!**

**行事企画委員会**

**技術者継続教育機構通信教育部会**

通信教育を平成 18 年 11 月より本格実施しております。学会誌購読による自己学習で最大年間 10 CPD，また，通信教育で最大年間 18 CPD 取得できますので，是非，通信教育にご参加下さい。

**1. 参加会員の募集**

参加をご希望の学会会員で，かつ CPD 機構会員の方は，農業農村工学会のホームページ（<http://www.jsidre.or.jp>）にある参加申込書に必要事項を記載してメール（E-mail：cpd@cpd.jsidre.or.jp）あるいは FAX（03 5777 2099）でお送り下さい。

なお，この機会に農業農村工学会，継続教育機構への入会を

希望される方は、同様にホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>, <http://www.jsidre.or.jp/cpd>) に申込様式がありますので、ご記入の上お申し込み下さい。

## 2. 申込期限

参加は、いつからでも可能です。

## 3. 事務局

機構の運営委員会内部に設置する部会および機構事務局が担当します。(☎03 5777 2098)

## 4. 内容

問題は3カ月前の学会誌の報文等から、機構通信教育部会が作成し掲載します。

問題は択一式で、毎回10問出題します。報文の事実的内容から作成し、回答はメールで機構に送信していただきます。

採点の結果、7割以上正解で1CPDポイント、満点で15CPDポイントが取得でき、機構会員の継続教育記録に自動的に登録されます。

解答は技術者倫理に則り、自らの責任において作成していただきます。

## 5. 参加費

学会会員のための行事の一環として実施するため、学会が必要経費を負担しますので、当分の間、通信教育参加費は無料です。

# 農業農村工学会災害対応調査団専門別調査団員登録についてお願い

## 災害対応特別委員会

農業農村工学会では、近年における地震、豪雨等による災害が各地に発生し、農地・農業用施設等に甚大な被害をもたらしている状況に鑑み、それら災害の原因究明、復旧対策工法の採用等に対する支援を行う組織として、災害対応特別委員会を設置しています。

この災害対応特別委員会では、「農地・農業用施設に甚大な被害が発生した自然災害」、「学術の見地から緊急調査が必要と判断される自然災害」に対して、災害発生後、直ちに災害対応調査団を派遣し、調査の実施、復旧支援を行う体制を整備しています。

そこで、災害対応調査団を組織しなければならない事態が生じた時に、早急に対応できるよう、調査団のメンバーを希望される方は事前に登録の申請をお願いします。審査の結果、登録された会員は、災害対応調査団候補者名簿(2年毎更新)に記載して、緊急災害等の場合に現地調査を行って頂きます。

なお、災害対応調査団の団員の資格および派遣の条件は、以

下のとおりです。

調査団の候補者は、高度な専門知識を有する農業農村工学会員とする。

派遣する調査団員は、候補者名簿の中から選定する。

調査団の派遣期間は、原則2~3日とする。

調査団派遣に関わる旅費は、農業農村工学会が後日精算する(年度予算限度額300万円)。

調査団員に対して、調査に必要と考えられる保険を掛ける。

調査団は、調査結果を速やかに報告する。

上記の趣旨をご理解のうえ、学会事務局 FAX 03 3435 8494、E-mail [saigai@jsidre.or.jp](mailto:saigai@jsidre.or.jp) までお申し込み下さい。様式は農業農村工学会ホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>) よりダウンロードして下さい。多数の応募をお待ちしております。

なお、登録頂いた個人情報、災害対応調査にのみ活用し、適切に取り扱います。

## 「農業農村工学会学術基金」の募金について

農業農村工学会は、農業農村工学の学術・技術の発展を通じて、わが国農業の近代化に大きく貢献できたものと自負しています。しかし、昨今の日本の農業はかつてない厳しい環境におかれ、農業農村工学の役割も従来に増して一層重要なものとなり、東南アジアをはじめとして全世界的な展開が望まれる状況になっています。

そのためには、若い世代の育成、新たな技術の開発や国際交流の進展が図られなければなりません。学会は、これら諸活動に資するものとして、平成3年4月に学術基金を創設し、これに上野賞基金や富士岡研究奨励基金を統合し、さらに法人・個人有志からの拠出金等をもってこの基金に充てることとしております。

つきましては、会員各位からの多くのご支援をいただきたく、お願い申し上げます。

なお、この学術基金による助成は、平成19年度までに46件の実績をあげています。

個人会員一口 5,000円(何口でも可)

法人会員一口 50,000円(何口でも可)

送金方法 銀行振込および郵便振替でお願いいたします。

銀行：みずほ銀行新橋支店

普通預金 No.1569058

口座名(社) 農業農村工学会学術基金

郵便振替：00140 2 54031

加入者名 農業農村工学会学術基金

**国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のお願いと  
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」について**

国際水田・水環境工学会 (International Society of Paddy and Water Environment Engineering:PAWEES) は、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊し、2008年9月に Vol 6, No 3 が発行されます。

本ジャーナルは、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関する研究論文、技術論文が多数掲載されますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。たくさんの方々が国際学会へ入会されることを望みます。

掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑 (水配分管理, 水収支, 灌漑施設, 栽培管理)
- ② 排水 (排水管理, 排水施設)
- ③ 土壌保全 (土壌改良, 土壌物理)
- ④ 水資源保全 (水源開発, 水文)
- ⑤ 水田の多面的機能 (洪水調節, 地下水涵養など)
- ⑥ 生態系の保全 (水生, 陸生動植物の生態系)
- ⑦ 地域計画 (農村計画, 土地利用計画など)
- ⑧ バイオ環境システム (水田農業と水環境, 土壌環境, 気

象環境)

- ⑨ 水田の多目的利用 (田畑転換, 施設園芸)
  - ⑩ 農業政策 (農村振興, 条件不利地の支援策など)
- 水田農業を通じた国際的な研究交流, 情報交換の場として、皆様の国際学会への入会をお勧めします。

国際学会に入会されますと、会員には国際ジャーナルが、年4回無料で配布されます。

出版社: Springer-Verlag 社 (ドイツ)

発刊スケジュール: 2003年3月創刊, 以後3カ月ごと

国際学会会費: 正会員 12,000 円/年/4 冊 (送料等学会負担)

学生会員 (院生含む) 8,500 円/年/4 冊 (送料等学会負担)

申込先: 農業農村工学会編集出版部 馬目宛

ホームページ: <http://www.jsidre.or.jp>

入会のお申込は、学会ホームページ <http://www.jsidre.or.jp/publ/ij/scope.htm> の「5. APPLICATION FORM FOR THE REGULAR MEMBER」にご記入のうえ、メールまたは FAX でお申し込みいただけます。

**国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと  
編集事務局 (投稿先) のお知らせ**

国際水田・水環境工学会 (International Society of Paddy and Water Environment Engineering) は、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊、2008年9月に Vol 6, No 3 が発行されます。

わが国においても学術誌の評価に、SCI Science Citation Index) の IF (Impact Factor) が利用されており、本国際ジャーナルでも IF の取得により高い評価の定着を目指しています。

また、世界 13 カ国から Editor (14 名) を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名な Springer Verlag 社からの刊行です。

掲載論文は、Review, Article, Technical Report および Short Communication の 4 種類です。

投稿から掲載までの時間を短縮するとともに、SCI 獲得のために年 4 回の発行としております。投稿者は国際学会員に限りますが、**投稿料、掲載料などを無料**として投稿者の負担を軽くするように配慮されています。

**投稿先:** PWE Chief Managing Editor, Dr. Soon-Jin HWANG  
International Society of Paddy and Water Environment Engineering (PAWEES)

KOFST - Main Building # 205

635-4 Yeoksam-Dong, Kangnam-Gu, Seoul 135-703,

Korea.

Tel : +82 2 562 3627, 562 3613 Fax : +82 2 565 6821

Email : sjhwang@konkuk.ac.kr, pawees@ksae.re.kr (will be made shortly)

(During Jan.2006 to Dec.2008)

**編集方針:** 水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としている。

その分野は、水田農業地帯における灌漑と排水、土壌保全、土地資源や水資源の保全と管理、水田の多面的機能、農業政策、地域計画、バイオ環境システム、生態系の保全、水田保全、田畑輪換等 である。

**編集体制** (2006.1.1~2008.12.31)

• Editor in Chief : Dr. Yoshisuke Nakano (Japan)

Former Professor, Kyushu University, Japan

• Editors 13 カ国から 14 名

• Editing Board 32 名

• Managing Editors

Chief Managing Editor : Dr. Soon-Jin HWANG

Department of Environmental Science, Konkuk University, Seoul, Korea

Dr. Yutaka MATSUNO

Faculty of Agriculture, Kinki University, Nara, Japan  
 Prof. Dr. Masaru MIZOGUCHI  
 Department of Global Agricultural Science, University  
 of Tokyo, Tokyo, Japan  
 Prof. Dr. Tsugihiko WATANABE  
 Research Institute for Humanity and Nature (RIHN)  
 Kyoto, Japan  
 Prof. Dr. Ke-Sheng CHENG

Department of Bioenvironmental System Engineering,  
 National, Taiwan University, Taipei, Taiwan, Rep. of  
 China

出版社：Springer Verlag 社（ドイツ）

投稿資格：筆者全員が国際学会員であること。

投稿要領等：http://www.jsidre.or.jp に詳細を記載していま  
 す。

## 「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております！

### 学会誌編集委員会

#### 自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。投稿の際には、農  
 業農村工学会ホームページに掲載の「農業農村工学会誌投稿要

項」,「農業農村工学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上、ご投  
 稿下さい。

#### 学会誌 76, 77 巻の小特集のテーマ

小 特 集 テ ー マ	要 旨 締 切 ( A 4 判 1 500 字以内 )	原 稿 締 切 ( 刷 上 り 4 ページ厳守 )
76 巻 9 号 農業農村工学分野における電磁波計測技術の利活用	公募終了	
10 号 北海道における水田の再編整備と農業生産の組織化(仮)	公募なし	
11 号 地球温暖化対策と農業農村工学技術(仮)	公募終了	
12 号 限界集落の現状と課題(仮)	公募終了	平成 20 年 8 月 29 日
77 巻 1 号 創立 80 周年を迎えるにあたって(仮)	公募なし	
2 号 農業農村整備技術の継承と技術者育成(仮)	平成 20 年 9 月 12 日	平成 20 年 10 月 31 日
3 号 農業農村整備事業の効果・効用(仮)	平成 20 年 10 月 15 日	平成 20 年 11 月 28 日

今後取り上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集いたします。なお、小特集テーマが仮題となっているものは、予告なく変更することがございます。

採用された原稿の分量は、刷上り 4 ページとなっておりますので、ご執筆の際には厳守いただきますよう、お願いいたします。

送付先 〒105 0004 東京都港区新橋 5 34 4 (社)農業農村工学会 学会誌編集委員会あて

☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494 E mail : henshu@jsidre.or.jp

#### 「オフィス便り」・「キャンパス便り」・「私の薦める本」の原稿を募集しています！

学会誌には、会員の職場や学校を紹介するコーナーとして、「オフィス便り」・「キャンパス便り」・「私の薦める本」を設け、随時募集しております。多くの会員が身近な情報を提供することにより、学会誌を親しみやすいものにするのと同時に、気軽に投稿できるコーナーとして活用していただきたいと考えております。

内容は、学会誌としての特徴を持ちつつ、他の機関誌とは違ったもので、できるだけ学会に関係のある内容、たとえば、

「オフィス便り」は、「事業実施において特色ある技術の導入」・「技術的に工夫した点」や「地域の魅力」、「技術者継続教育」・

「技術力の向上」・「技術者倫理」など。

「キャンパス便り」は、「研究室の研究内容」・「学科紹介」など。

上記の内容を中心に、より広く事業や地域、また大学や研究室の紹介、その他の取組み状況を含めて、職場、学校として特徴のあるものを募集しています。奮ってご投稿下さい。

原稿の長さは、刷上り 2 ページ(4,000 字程度)で、写真を 1~2 枚程度入れて下さい。

「私の薦める本」は、原稿の長さが写真・体裁等含む刷上り 1 ページ以内(1,200 字)で、原稿には表紙の写真を含めて下さい。

#### 77 巻 2 号テーマ「農業農村整備技術の継承と技術者の育成」(仮)

農業農村整備技術は、江戸時代の先たちの経験を基礎として、明治以降発展する社会経済の要請を受けながら多様化・高度化し、農業基本法および土地改良法の成立以降、わが国の社会資本整備の中核を担うまでに貢献してきました。しかし、時

代の推移とともに農業農村工学分野が排出した多くの人材のうち、基幹水利施設の計画立案段階や建設ピーク時に活躍したベテラン技術者が花道にさしかかり、また干拓事業や農地開発事業をはじめとする食料増産時代の技術を知る者も少数派になり

つつあります。

現代はといえばバブル期以降の社会経済情勢を背景として、技術の焦点は過去に投資してきた社会資本をいかに効率的に永く維持・更新していくかに移った感があります。しかしながら、これからの食料危機や地球温暖化などの問題を考えれば、計画当初の設計技術（新たにものを造るための技術）を風化させないと同時に、新たな社会要請にも応えうる技術者を世に送ることが、いかに重要であるかは論を待たないところです。

このためには、農業や水と土から、生物、地球に至る環境に対する課題を学んできた若い技術者に、しっかりした考え方や活躍の場を提供していくことが、農業農村工学会の重要な責務ではないかと考えます。

そこで、農業農村工学分野において行われている継続的教育の現状を知り、そこから現時に即応した新しい形の技術者を育成していく際の問題点を抽出することがまず重要であると考えられます。

さらに、農業農村工学に関わる産学官いろいろな分野の若手技術者から、どのような専門で活躍する技術者像をめざしているのか、あるいは将来やってみたい専門技術はどのようなものか、積極的な意見を集め真摯に耳を傾けることが、若手を育てる良いヒントに繋がるものと考えます。

上記を踏まえ、技術者育成のあり方と具体的方法について論議を深めるきっかけとするため、広く報文を募集していきたいと考えます。

### 身近にある水利遺構で表紙を飾ろう!!

#### 「水土の知（農業農村工学会誌）」平成 21 年夏季の表紙写真の募集

学会誌編集委員会では、平成 21 年も引き続いて皆さまからの写真で表紙を飾ることとします。

#### 趣 旨

わが国は急峻な地形であることや水田稲作が発達したことに起因して、水を制する、水を利用するための土木的施設が数多く造られてきました。それら用水路、頭首工、堰堤などの水利施設は、今も過酷な自然の猛威にさらされながらも、農業経営、防災などの面で人々の生活を支えています。また、それぞれの機能を発揮するとともに、年月を重ねることでその地域の自然や文化にけいこみ、その景観を構成する要素として不可欠なものもあります。それが国家規模のプロジェクトで建設されたものでなくとも、私たちが調査・研究・事業の対象としている農村地域にも、規模の違いこそあれ立派に機能美と景観美を放つものが存在します。

農業・農村の現場で活躍される皆さま、日頃何気なく見過ごしているかもしれない水利遺構とそれを含む景観の美しさを再評価いただいて、忙しい業務の合間にも、足を止め、手を休めて写真として記録いただき、広く学会員にご紹介下さい。特に今回は、「夏」が感じられる「水利遺構」の写真を集めたいと思います。

#### 記

#### 1. テーマ

「水利遺構：先人たちの技術と苦勞が垣間見える造形美」

（昨年と同様）

#### 2. 対象巻号

学会誌第 77 巻（平成 21 年 1～12 月号）のうち、特に夏季のもの

#### 3. 写真の種類

単写真、組写真いずれもカラープリントで（デジタルカメラの場合は JPEG ファインモードまたは TIFF モードに設定）撮影してください。入選の際にはデジタルデータをお送りいただく場合があります。組写真の場合は、その旨明記して下さい。

#### 4. 枚 数

応募写真に制限はありませんが、未発表のものに限ります。

#### 5. 締 切 平成 20 年 9 月 30 日（夏季の写真）

#### 6. 注意点

応募された被写体の季節が極端に偏ることから、募集する季節ごとに締切を設けさせていただきました。ご注意ください。

審査は上記の趣旨を十分理解されている写真であるか、表紙写真の質として耐えうるかということを重視します。具体的には、水利構造物の形状や機能が、その写真から十分に読みとれる（花などの情緒物に埋没しない）、デジタル画像の場合で解像度が不十分で表紙に拡大してドット崩れしないことが採用の条件となります。

### 第 11 回(2009 年)「日本水大賞」募集要項について

#### 1. 目的

日本水大賞は、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる 21 世紀の日本と地球を目指し、水循環系の健全化に寄与することを目的としています。

本賞を実施するために、日本水大賞委員会を設け、企画・運営・審査を行います。

#### 2. 対象範囲

##### (1) 対象となる活動分野

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、水環境、水資源、水文化、水防災、のような分野における諸活動（研究、技術開発を含む）を対象とします。

##### (2) 対象となる活動主体

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、学校、企業、団体、個人、行政の方々が実施する諸活動を対象とします。なお、個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません。

### 3. 日本水大賞の内容

対象となる活動の中から、優れたものに対して以下の賞を授与し、広く公表します。なお、副賞は受賞活動を更に継続していただくよう授与しています。

大賞【グランプリ】(賞状・副賞 200 万円)

大臣賞(賞状・副賞 50 万円)

【国土交通大臣賞】【環境大臣賞】【厚生労働大臣賞】

【農林水産大臣賞】【文部科学大臣賞】【経済産業大臣賞】

市民活動賞【読売新聞社賞】(賞状・副賞 30 万円)

国際貢献賞(賞状・副賞 30 万円)

奨励賞(賞状・副賞 10 万円)

審査部会特別賞(賞状・副賞 10 万円)

タイムリー賞

### 4. 選定の方法等

日本水大賞委員会の下に、上記の賞を選考するために各々の審査部会を設置し、表彰対象となる活動を審査し、最終的には日本水大賞委員会が決定します。

### 5. 募集期間

平成 20 年 7 月 7 日～11 月 30 日(郵送の場合は当日消印有効)

### 6. 応募方法

応募用紙 3 枚：ホームページからダウンロードして下さい)に必要事項をご記入の上、応募用紙および添付資料を事務局宛送付または持参して下さい。応募用紙および添付資料が電子

データの場合は、E-mail でも応募を受け付けます。

応募の詳細はホームページを参照して下さい。

### 7. 審査結果の公表

審査の結果は、平成 21 年 3 月下旬に(社)日本河川協会のホームページおよび新聞紙上にて公表する予定です。入賞者には個別に連絡いたします。

### 8. 主催等

(1) 主催 日本水大賞委員会

名誉総裁 秋篠宮文仁殿下

委員長 山岸哲((財)山階鳥類研究所所長)

副委員長 虫明功臣(福島大学教授)

(2) 後援(予定)

環境省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、(社)農業農村工学会ほか 34 団体

(3) 協賛

「川の日」実行委員会ほか 6 団体

### 9. 送付先・問合せ先

【日本水大賞委員会事務局】

社団法人日本河川協会

〒102 0083 東京都千代田区麹町 2 6 5 麹町 E. C. K ビル 3 階

☎03 3238 9771 FAX 03 3288 2426

URL : <http://www.japanriver.or.jp/taisyo/>

E-mail : [taisyo@japanriver.or.jp](mailto:taisyo@japanriver.or.jp)

担当塚本、佐藤(平日 9 : 15 ~ 17 : 30)

<本事業は、(財)河川環境管理財団河川整備基金の助成を受けて実施しています>

## 支部講演会の投稿票について

支部講演会への投稿要領のうち、原稿や投稿票の作り方の統一された部分を一括して学会ホームページ(<http://www.jsidre.or.jp>)に掲載しますので、支部講演発表希望者各位は、投稿票と同じ項目のファイルの入ったフロッピーディスクを各

支部講演会担当者宛ご提出下さい。

ただし、各支部の投稿規定等別途指示がある場合は、各支部の投稿規定に従って下さい。

## 第 57 回北海道支部研究発表会の開催について(第 1 報)

技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 期 日 平成 20 年 10 月 22 日(水)

2. 会 場 札幌市・北海道大学学術交流会館 2 階講堂  
(札幌市北区北 8 条西 5 丁目・北大正門すぐ)

### 3. 研究発表申込み

発表を希望する方は投稿原稿に先立ち、発表表題・発表者名と発表形式の希望(口頭またはポスター)を E-mail, FAX または郵送にてお申し込み下さい。

発表申込みの締切は平成 20 年 9 月 24 日(水)です。

発表申込者には折り返し講演集原稿作成要領をお送りしま

す。

講演集原稿の締切は平成 20 年 10 月 3 日(金)です。

### 4. 参加申込み

下記様式により、E-mail, FAX または郵送にてお申し込み下さい。

参加申込み締切は平成 20 年 10 月 17 日(金)です。

所属機関 \_\_\_\_\_  
 同上所在地 \_\_\_\_\_  
 申込代表者 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

氏 名	所 属	備 考

5. 発表・参加申込先

〒060 8589 北海道大学大学院農学研究院内  
 農業農村工学会北海道支部事務局  
 担当：柏木淳一 E-mail: kashi@envagr.hokudai.ac.jp  
 ☎011 706 3641 FAX 011 706 2494

6. 参加費用

2,000円（当日会場にて申し受けます。）

第42回東北支部研修会・第32回地方講習会の開催について（第1報）

技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 期 日 平成20年11月27日（木）

2. 会 場 秋田市「秋田ビューホテル」

〒010 0001 秋田市中通2-6-1

☎018 832 1118 FAX 018 833 6957

3. 問合せ先

秋田県農林水産部農山村振興課農村整備計画班 佐藤 畠山

〒010 8570 秋田市山王4-1-1

☎018 860 1855 FAX 018 860 3815

第59回関東支部大会講演会の開催について（第2報）

技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 主 催 社団法人 農業農村工学会 関東支部

後 援 農林水産省関東農政局, 長野県

2. 大会および講演会

(1) 日 時 平成20年10月21日（火）

・受 付 9:00~10:00

・支部大会 10:00~11:00

・講演会 11:00~17:00

(2) 会 場 長野市若里市民文化ホール

・受 付 エントランスホール

・支部大会 若里ホール

・講演会 若里ホール, 中会議室, 特別会議室 B

【会場問合せ先】

長野市若里市民文化ホール

〒380 0928 長野市若里3-22-2 ☎026 223 2223

3. 情報交換会

(1) 日 時 平成20年10月21日（火）17:30~19:30

(2) 会 場 メルパルク長野（長野駅東口より徒歩5分）

長野市鶴賀高畑 752-8 (☎026 225 7800)

4. 現地研修会

(1) 日 時 平成20年10月22日（水）

8:20 集合（長野駅東口）

8:30 出発

14:00 解散（松本駅）

15:30 解散（長野駅）

(2) コース（予定）

長野駅 梓川頭首工建設工事（国営中信平二期地区）

県営畑総（黒沢北地区） 拾ヶ堰排水路（国営安曇野地

区） 松本駅 長野駅

5. 講演会, 情報交換会および現地研修会の参加申込方法

(1) 申込み

「第59回農業農村工学会関東支部大会講演会参加申込書」に必要事項をご記入し, 所属機関ごとに取りまとめるうえ, E-mail または FAX, 郵送にてお申し込み下さい。

・郵送にてお申込みの場合は, コピー（控え）をとっておいて下さい。

・支部大会もしくは講演会のみ参加の場合においても, お申込みをお願いします。

(2) 申込期限 平成20年8月29日（金）

(3) 参加費

・講演会 5,000円（昼食代1,000円を含む）  
 近隣に食事場が少ないため

・情報交換会 4,000円

・現地研修会 5,000円（昼食代1,000円を含む）

(4) 会費の納入方法

参加申込みと同時に下記【会費の振込先】に全額前納して下さい。

なお, 申込み後のキャンセル・変更については, 8月29日（金）以前の申し出に限りまして, 振込手数料等の実費を差し引き返金いたします。

9月1日（月）以降のキャンセルにつきましては応じかねますので, ご了承のほどよろしく申し上げます。

【留意事項】

振込手数料は, 各自にてご負担願います。

【会費の振込先】

八十二銀行 県庁内支店（普通）642175

名称：農業農村工学会関東支部大会 事務局 丸山茂春

（ノウギョウノウソンコウガツカイカントウシブタイカイ ジムキョク マルヤマ シゲハル）

振り込み元が判明できるように所属, 氏名等をご記入下さい。

- (5) 申込先および問合せ先(事務局)  
〒380 8570 長野県長野市大字南長野字幅下 692 2  
長野県農政部農地整備課  
(担当 松本, 丸山, 大野, 宮尾)  
☎026 235 7241 (直通) FAX 026 233 4069  
E-mail: nochi-shido@pref.nagano.jp (アドレスが変更になっています)

- (6) 申込様式  
申込様式は、長野県農政部農地整備課ホームページ上にも掲載してありますので、ファイルをダウンロードしてご利用いただくことも可能です。

URL <http://www.pref.nagano.jp/nousei/nochi/taikai/index.htm>

#### 第59回農業農村工学会関東支部大会講演会参加申込書

ふりがな 所属			電話番号		
ふりがな 申込者氏名			FAX 番号		
所属所在地	〒				
ふりがな 参加者氏名	大会講演会 (10月21日) 出席 欠席 x	CPD 番号 (技術者継続 教育機構)	情報交換会 (10月21日) 出席 欠席 x	現地研修会 (10月22日) 出席 欠席 x	銀行振込者 所属・氏名
<例> 長野 太郎		123456789			県 x 課 長野 雪夫

講演会、情報交換会および現地研修会の欄は、出席の場合を、欠席の場合はxを記入して下さい。

#### 6. 講演発表者申込み方法

- (1) 申込み  
農業農村工学会ホームページ (<http://www.jsidre.or.jp>) から「平成20年度支部大会講演会投稿票」をダウンロードし、「支部講演会の投稿票について」の2から4に従って必要事項を記載し、(3)あてメール送信して下さい。

- (2) 申込期限 平成20年8月20日(木)

- (3) 申込先および問合せ先  
5の(5)と同じ。

#### 7. その他

- (1) 会場への案内

##### ・大会講演会

バス: JR 長野駅善光寺口 2番乗場 系統番号21 日赤線「大塚南行き」「松岡行き」「サンマリン行き」で「ビッグハット」下車,または、「ビッグハット行き」で下車徒歩1分

なお、受付時間に合わせ JR 長野駅東口よりシャトルバスを運行します。料金は、路線バスと同額です。

タクシー: 長野駅東口から10分

車: 上信越自動車道長野 IC から20分

- (2) 宿泊場所

宿泊場所の斡旋は行いませんので、下記のホームページの宿泊施設一覧を参考にいただき、各自でご手配をお願いします。

【参考】(財)ながの観光コンベンションビューロー

(☎026 223 6050)

・宿泊施設一覧 URL <http://www.nagano-cvb.or.jp>

### 第37回中国四国支部研修会・第32回地方講習会の開催について(第2報)

技術者継続教育プログラム認定申請中



中国四国支部第37回支部研修会・第32回地方講習会を11月13日(木),14日(金)の2日間にわたり、開催します。本研修会・講習会の開催要領・参加申し込みについては、下記のとおりです。多数のご参加をお待ちしております。

#### 記

#### 1. 課題

- (1) 支部研修会: 『くだもの王国おかやま』と畑地かんがい施設』  
(2) 地方講習会: 『設計基準 - 頭首工の解説 - 』  
『計画基準の最近の動向』  
『管理基準について』

#### 2. 日時

- (1) 支部研修会: 平成20年11月13日(木)  
10:30~16:40  
(2) 地方講習会: 平成20年11月14日(金)  
9:30~15:00

#### 3. 場所

岡山衛生会館・三木記念ホール

〒703 8278 岡山市古京町1110

☎086 272 3275 FAX 082 272 3256

#### 4. プログラム

11月13日(木)支部研修会

テーマ: 『「くだもの王国おかやま」と畑地かんがい施設』

9:30~ 受付開始

10:30~10:50 開会あいさつ

11:00~12:00 (仮題) 『農業農村整備事業の今後の展開方向とストックマネジメント』

12:00~13:00 [ 昼 食 ]

13:00~13:50 「国営更新事業の紹介」(仮題)

13:50~14:40 「岡山県の畑地かんがい施設と更新整備」(仮題)

14:40~14:50 [ 休 憩 ]

14:50~15:40 「おかやまのくだもの振興」(仮題)

岡山県農林水産部生産流通課総括参事 平松 健二

15:40~16:30 「晴れの国おかやまの農業土木遺産」(仮題)

岡山大学大学院教授 馬場 俊介

16:30~16:40 閉会あいさつ  
 11月14日(金) 支部講習会  
 9:00~ 受付開始  
 9:30~9:40 閉会あいさつ  
 9:40~11:00 『設計基準 頭首工の解説』について  
 (その1)』  
 石川県立大学生物資源環境学部教授 青山 咸康  
 11:10~12:00 『設計基準 頭首工の解説』について  
 (その2)』  
 12:00~13:00 [ 昼 食 ]  
 13:00~13:50 『計画基準の最近の動向』について』  
 14:00~14:50 『管理基準について』  
 14:50~15:00 閉会あいさつ  
 詳細については、第3報にてお知らせします。

また、講師の都合により、講演テーマ等を変更する場合があります。

5. 参加費等

支部研修会 3,000円(非会員 4,000円)  
 地方講習会 4,000円(非会員 5,000円)  
 昼食代 1,000円(1食分)

(会場周辺にも食事をする場所はありますが、弁当を手配しますのでご利用下さい。)

6. 問合せ先

岡山県農林水産部耕地課水利・ほ場整備班 横山, 武村  
 〒700 8570 岡山県岡山市内山下2-4-6  
 ☎086 226 7434(直通) 086 224 2111(代表)  
 FAX 086 222 9621  
 E-mail: kouichirou\_takemura@pref.okayama.lg.jp

7. 参加申込方法

- (1) 申込書  
 所定の申込様式により所属機関ごとに取りまとめ、お申し込み下さい。
- (2) 申込締切日 平成20年10月15日(水)
- (3) 参加費の納入方法  
 銀行振込または、当日支払いです。どちらで納入するか申込用紙にご記入下さい。  
 なお、振込み後の参加費用等の返還には応じられませんのでご注意下さい。

【申込様式】

中国四国支部研修会・地方講習会参加申込書

所属機関 \_\_\_\_\_  
 所在地(〒 \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_  
 連絡者氏名 \_\_\_\_\_  
 TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

所属	氏名	会員区分	【13日】支部研修会 3,000円 (4,000円)	【13日】昼食代 1,000円	【14日】支部講習会 4,000円 (5,000円)	【14日】昼食代 1,000円	合計 (円)	技術者 継続教育 機構 個人会 員	支払 方法
									振込 or 当日
計		会員 非会員	人 人	人	人 人	人	円		

注) 出席および必要な場合は 印、欠席および不要な場合は×印をご記入下さい。

金額の( )は非会員  
 技術者継続教育機構の個人会員の方は右端の欄に をご記入下さい。

振込み手数料については、振込み人負担をお願いします。

【振込口座】振込先 中国銀行 県庁支店

口座番号 普通 1413897

口座名称 支部研修会地方講習会  
 実行委員会 横山慎二

(4) 参加申込先

岡山県農林水産部耕地課水利・ほ場整備班 横山, 武村  
 〒700 8570 岡山県岡山市内山下2-4-6  
 ☎086 226 7434(直通) 086 224 2111(代表)  
 FAX 086 222 9621  
 E-mail: kouichirou\_takemura@pref.okayama.lg.jp

8. 宿泊案内

宿泊の斡旋・手配は行いませんので、各自でお申し込み下さい。

9. 交通アクセス案内

JR 岡山駅より 路面電車約10分 県庁通り電停下車  
 徒歩約10分  
 バス約10分 県庁前下車 徒歩約5分  
 岡山空港より リムジンバス約30分 JR岡山駅下車  
 路面電車またはバス

九州支部第89回講演会・ポスターセッション  
 第31回講習会・シンポジウム・現地見学会の開催について(第2報)

技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 日時

平成20年10月30日(木)  
 9:30~17:00: 講演会・ポスターセッション  
 平成20年10月31日(金)  
 9:30~17:00: 講習会・シンポジウム(午前)

現地見学会(午後)

2. 会場 講演会・ポスターセッション・講習会・シンポジウム)

沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ  
 【http://www.crowneplaza-harborview.jp/】  
 〒900 0021 沖縄県那覇市泉崎2-46 ☎098 853 2111

モノレール県庁前駅または壺川駅徒歩 10 分

### 3. プログラム

#### (1) 10月30日(木): 講演会・ポスターセッション

9:00~9:30 受付

9:30~10:00 開会式(彩海の間)

開会あいさつ 農業農村工学会九州支部長

佐賀大学農学部教授 瀬口 昌洋

来賓祝辞 [未定]

歓迎あいさつ 沖縄県農林水産部長 護得久友子

10:00~10:20 支部賞表彰式(彩海の間)

支部賞発表 九州支部賞選考委員長

琉球大学農学部教授 吉永 安俊

支部賞授与 農業農村工学会九州支部長

佐賀大学農学部教授 瀬口 昌洋

10:20~11:30 記念講演(彩海の間)

[題目未定] 農業農村工学会元九州支部長

琉球大学農学部長 宜保 清一

13:00~17:00 講演会(第1~4会場予定)

第1会場 彩海の間(2F) 第2会場 白凰の間(A(2F))

第3会場 白凰の間(B(2F)) 第4会場 金鶏の間(2F)

12:00~17:00 ポスターセッション

会場近隣展示スペース(2F)

#### (2) 10月31日(金): 講習会

場所: 第1会場 彩海の間(A(2F))

9:00~9:30 受付

9:30~9:40 開会あいさつ

農業農村工学会九州支部長

佐賀大学農学部教授 瀬口 昌洋

9:40~10:25 計画基準の最近の動向

農村振興局企画部資源課長補佐 増尾 学

10:35~11:35 管理基準について

農村振興局整備部水利整備課施設管理室課長補佐

福田 一宏

11:35~11:45 閉会

#### (3) 10月31日(金): シンポジウム

場所: 第2会場 彩海の間(B(2F))

時間: 9:30~11:30

課題: 「九州・沖縄における土と水に関する諸問題」

総合司会 九州大学大学院農学研究院准教授 原田 昌佳

「Physical, Chemical and Mechanical Characteristics of Ariake Clay and Tondano Clay Stabilized by Fly Ash-based Geopolymer (仮題)」

鹿児島大学大学院連合農学研究所 Meldi T. M. Sinolungan

「Optimal Management of Drainage System in Flat Low-lying Agricultural Areas (仮題)」

九州大学大学院生物資源環境科学府 Le Van Chinh

「浮遊性植物の繁茂する閉鎖性水域における熱対流の特

性(仮題)」

九州大学大学院生物資源環境科学府 濱上 邦彦

#### (4) 10月31日(金): ポスターセッション表彰式

場所: 第2会場 彩海の間(B(2F))

時間: 11:30~11:40

表彰授与 農業農村工学会九州支部長

佐賀大学農学部教授 瀬口 昌洋

#### (5) 10月31日(金): 現地見学会

集合時間: 12:50

集合場所: 沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ(正面玄関前)

予定コース:(出発) 沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ 13:00 13:50 国営かんがい排水事業(慶座地下ダム) 14:20 14:50 平和祈念公園(平和祈念資料館, 平和の礎) 16:00 16:30 頃空港 17:00 頃県庁前付近(解散)  
(参加人数が25名に満たない場合は, 中止する場合がございますのでご了承下さい。)

### 4. 参加費用

	10月30日(木)		10月31日(金)		
	講演会 参加費用	昼食 幕の内弁当	講習会 参加費用	現地見学会 参加費用	昼食 幕の内弁当
一般料金	5,000円	1,050円	4,000円	3,000円	1,050円
学生料金	2,500円	1,050円	2,000円	2,000円	1,050円

現地見学会参加費内訳: 資料代1,000円(学生1,000円),  
バス代経費2,000円(学生1,000円)

### 5. 講演会の講演申込み

平成20年度の大会全般を沖縄県が担当しますが, 講演会等のプログラム編集は佐賀大学が担当します。講演申込み(原稿投稿先)は下記によりお申し込み下さい。

(1) 投稿締切 平成20年9月12日(金)

(2) 投稿先

〒840 8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

佐賀大学農学部 近藤 文義 宛

☎0952 28 8761(直通) FAX 0952 28 8709

E-mail: kondof@cc.saga-u.ac.jp

(3) 投稿要領

講演希望者は, 「講演原稿」と別紙「講演会投稿票」を投稿先(佐賀大学農学部近藤)までお送り下さい。講演会投稿票には, 演題・氏名・勤務先・所属等を記入の上, フロッピーディスクまたはメールの添付ファイルで投稿先までお送り下さい。

(4) 原稿の書き方

図・表・写真等を含めて, 1題につき2ページまたは4ページとし, 3ページや5ページ以上の原稿は受け付けません。原稿や投稿票の作成方法は農業農村工学会ホームページ「平成20年度支部講演会の投稿票について」【<http://www.jsidre.or.jp/news/kaikoku/20shibutoukou.htm>】に

掲載されていますので、参照またはダウンロードして下さい。

(5) 講演方法

1 題につき、質問・交代時間を含めて 12~15 分程度の発表とします。なお、講演の補助機材としてパソコン( OS: WindowsXP, ソフト: PowerPoint 2003 )とプロジェクターを事務局で用意しますが、OHP やスライドは準備しませんので、ご了承下さい。

6. ポスターセッションの申込み

近年、九州支部講演会においては、学生会員の講演件数が増加しています。また、平成 13 年度からは、シンポジウムを支部講演会と同時に開催し、内容の充実を図っています。

したがって、1 課題当たりの講演時間を確保し、プログラムの編成を容易にするために昨年度に引き続き口頭発表に加え、ポスター発表を企画しております。

このポスター発表は、研究の背景や成果および将来への展望などを発表者と参加者が 1 対 1 の差し向かいで討議できるという口頭発表では実現しがたい特徴を備えています。特に、よく準備されたポスターとプレゼンテーションは、参加者に感銘と刺激を与えるなど、実り多い討論をもたらすことが期待されます。

本年度も、原則として学生会員(学部生・研究生・大学院修士)を対象に募集します。なお、ポスターセッションは、会場のスペースの関係で発表者の制限を設ける場合がありますので、ご了解下さい。また、発表者の中からポスター賞を若干名授与します。

(1) 申込締切 平成 20 年 9 月 12 日(金)

(2) 申込先

ポスターを講演投稿先(佐賀大学農学部近藤)までお送り下さい。ポスターは講演要旨集に収録します。

(3) 枚数 1 課題 A0 版 1 枚以内

(4) その他

ポスターは、10 月 30 日(木) 12:00 までに本人の責任で所定の位置に掲示して下さい。当日は掲示用に 2.1 m(縦) × 1.8 m(幅)のパネルを設置する予定です。

7. 参加申込方法

(1) 参加申込み

参加申込みは、農業農村工学会ホームページ内の九州支部第 89 回講演会・第 31 回講習会・ポスターセッション・シンポジウム・現地見学会の申込みについて(<http://www.jsidre.or.jp/newinfo/kyushushibu.htm>)にアクセスし、参加申込書をダウンロードして下さい。参加申込書

に必要な事項を記載の上、FAX にて 092 751 4098 まで送信して頂きますようお願いいたします。

(2) 申込期限 平成 20 年 8 月 29 日(金)

なお、会場の都合により定員になり次第締切りますので、早めにお申し込み下さい。

(3) 参加費の納入

申込みを受け付けた後、JTB 沖縄(株)より 10 月中旬以降に確認書・請求書を送付いたしますので、内容を確認のうえ、同封の請求書記載の期限までにお振り込みいただくか、当日お支払い下さい。(10 月 16 日以降の取り消しについては、参加費を徴収致しますのでご了承下さい。)

(4) 宿泊施設の斡旋

宿泊の斡旋は、JTB 沖縄(株)(JTB コンベンションサポートセンター(受付業務代行業者)在福岡)を通じて行います。ご希望の方は、農業農村工学会ホームページ内の「九州支部講演会・講習会・シンポジウム・現地見学会の申込みについて」に掲載されているホテルの中からお選びいただき、参加申込書に該当するホテルの記号をご記入の上、FAX にてお申し込み下さい。なお、客室の都合上希望に添えない場合がございますのでご了承下さい。

8. 申込先・振込先・問合せ先

(1) 申込先

JTB コンベンションサポートセンター(受付業務代行)

〒810 0072 福岡県福岡市中央区長浜 1 1 35

新 KBC ビル 6 F

☎092 751 2102 FAX 092 751 4098

営業時間: 平日 09:30~17:30

土日・祝日は休業日となります。(土日・祝日は翌営業日受付となります)

(2) 振込先

関係書類送付時に通知致します。(開催日 10 日前頃を予定)

9. 事務局

農業農村工学会九州支部講演会・講習会運営事務局

(事務局長: 増村光広)

沖縄県 農林水産部 村づくり計画課: 大村, 多和田

〒900 8570 沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 2 番 2 号

☎098 866 2263 FAX 098 869 0557

E-mail: oomuramn@pref.okinawa.lg.jp

E-mail: tawatama@pref.okinawa.lg.jp

## 農地保全研究部会第29回研究集会(第2報)

## 「中山間地における農地保全・地域資源の活用」

技術者継続教育プログラム認定申請中



## 1. 開催日

- (1) 研究集会 平成20年10月23日(木)  
 (2) 現地見学会 平成20年10月24日(金)

## 2. 場所

- (1) 研究集会 〒515 0014 三重県松阪市若葉町161-2 松阪商工会議所 大ホール(松阪駅から徒歩10分) ☎0598 51 7811  
 (2) 現地見学会 松阪市および近郊市町の農業農村整備事業

## 3. プログラム

- (1) 研究集会 平成20年10月23日(木) 9:30~17:00  
 9:30~10:00 受付  
 10:00~10:20 開会式  
 10:20~11:10 特別講演「多気町勢和地域に於ける農・水・環境保全向上活動を振り返って」  
 水土里ネット立梅用水事務局長 高橋 幸照  
 11:10~12:00 基調講演「未定」  
 農林水産省農村振興局地域整備課中山間整備推進室 課長補佐(直接支払い業務班) 西尾 利哉  
 12:00~13:00 昼食  
 13:00~13:40 講演1「棚田の現状と保全」  
 NPO法人棚田ネットワーク代表・早稲田大学名誉教授 中島 峰広  
 13:40~14:20 講演2  
 「耕境を抱える地域の農地利用計画」  
 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所農村計画部地域計画研究室 遠藤 和子  
 14:20~15:00 講演3「うきさとファンと女性」  
 うきさとむら ささゆり会会長 西井 玉枝  
 15:00~15:20 休憩  
 15:20~17:00 総合討論  
 17:00 閉会  
 18:30~20:00 情報交換会(松阪市内:場所はホームページにてお知らせします)  
 (2) 現地見学会 平成20年10月24日(金)  
 9:00~16:15  
 9:00~9:30 集合・受付(集合場所はホームページにてお知らせします)  
 10:00~10:45 県営中山間地域総合整備事業茅広江地

## 区

- 11:00~11:45 松阪市飯南町深野だんだん田  
 12:00~13:00 まめや(昼食)  
 13:00~14:15 立梅用水  
 14:45~15:30 松阪市農業公園ベルファーム  
 15:45 松阪駅(JR または近鉄)  
 16:00 松阪港(高速船, 中部国際空港)

## 4. 参加費用等

- (1) 研究集会 参加費 3,500円  
 昼食代 1,000円(希望者)  
 (2) 現地見学会(昼食代込み)  
 参加費 3,500円(バス代2,500円+昼食代1,000円)  
 (3) 情報交換会  
 参加費 5,000円

## 5. 参加申込み

- (1) 申込方法  
 申込みはホームページの「研究集会参加申込書」よりダウンロードした様式にて, 所属機関ごとに取りまとめた上, E-mail, 郵送またはFAXでお願い致します.  
 (2) 申込先  
 〒514 8507 津市栗真町屋町1577  
 三重大学大学院生物資源学研究所 成岡 市  
 FAX 059 231 9574 E-mail: narioka@bio.mie-u.ac.jp  
 (E-mailで申込みの方は, 件名に「農地保全研究集会参加」と記述してください.)  
 (3) 申込期限 平成20年9月26日(金)  
 (4) 参加費の振込み

振込み期限 平成20年10月10日(金)

振込口座: 百五銀行 津駅前支店栗真出張所  
普通 296755

口座名義: 農業農村工学会 農地保全研究部会

## 6. 問合せ先

農地保全研究部会事務局  
 〒514 8507 津市栗真町屋町1577  
 三重大学大学院生物資源学研究所 酒井 俊典  
 TEL&FAX 059 231 9580  
 E-mail: sakai@bio.mie-u.ac.jp

HP <http://www.bio.mie-u.ac.jp/society/nouchihozen/>